

# 令和5年度屋外広告士試験

## 問題 B

### 広告デザイン

試験時間：13:00～14:20（退出可能時間：13:50～14:10）

次の注意をよく読んでから始めてください。

1. これは問題Bです。表紙を除き11ページ20問あります。
2. 問題はすべて必須問題です。
3. 氏名・受験地はマークシート解答用紙に記入してください。
4. 受験番号はマークシート解答用紙に記入し、該当する番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。
5. 解答はマークシート解答用紙の番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。
6. 1問に2つ以上解答した場合は正解としません。
7. 解答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
8. マークシート解答用紙は退席の際に回収します。
9. この問題冊子は持ち帰っても構いません。



【問1】 広告全般の定義に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

「広告とは（ a ） 広告主によって、選択された市場に、アイデア、商品、あるいはサービスなどを管理可能な状態で告知し説得する（ b ） の非人的提示および促進活動である。」

- |    | (a)   | (b)  |
|----|-------|------|
| 1. | 匿名の   | 有料形態 |
| 2. | 匿名の   | 無料形態 |
| 3. | 明示された | 有料形態 |
| 4. | 明示された | 無料形態 |

【問2】 屋外広告物における民間活力に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 公共的な活動を民間に移行させる動きの中で、公共的な媒体への広告の活用も盛んになっている。
2. バス全体を広告で包むラッピングバス、ポスター掲示板を組み込んだバスシェルターのように、本来の機能に広告の機能を付加した複合的な媒体もある。
3. 民間団体が公共施設に命名する権利であるネーミングライツによって自治体が得た対価は、施設の運営・管理に役立てることができる。
4. 公共事業に広告を導入するにあたっては、提案する専門業者に積極的に委ねることが不可欠である。

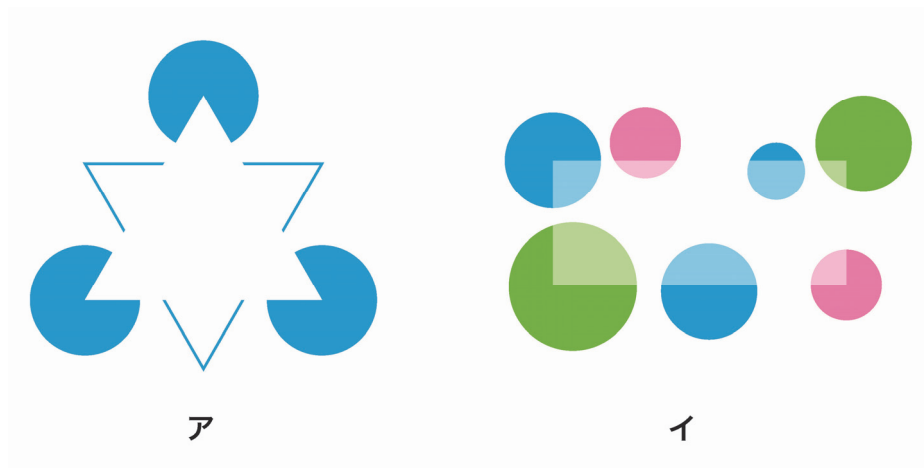
【問3】 人の目の構造と働きは、カメラに例えると分かりやすく理解できると言われている。フィルムカメラの場合、カラーフィルムに相当するものとして**適切なもの**はどれか。

1. 網膜の錐体視細胞
2. 網膜の桿体視細胞
3. 水晶体
4. 角膜

【問4】次に示す図ア並びに図イに関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

図アのように、物理的に存在しない白い三角形が周囲より明るくはっきりと浮き出て見える現象を（ a ）という。図イは（ b ）図形による（ a ）の例である。これらは、明るさ知覚の（ c ）の例である。

- |    | (a)   | (b) | (c) |
|----|-------|-----|-----|
| 1. | 主観的輪郭 | 立体視 | 主観色 |
| 2. | 主観的輪郭 | 透明視 | 錯視  |
| 3. | 多義図形  | 立体視 | 錯視  |
| 4. | 多義図形  | 透明視 | 主観色 |



【問5】屋外広告物の視知覚に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 同化とは、量、質において著しく異なる要素が置かれたとき、相互の性質がより強く感じられる現象をいう。
2. 見るという視覚作用は、周囲の様々なものの中から意味のある何か必要な情報（対象）を、他と区別して取り出す作業である。
3. 周囲が白ければ暗い色ほど図になりやすく、周囲が黒の場合は明るい色ほど図になりやすい。
4. 色彩対比を広告物やサインに用いる場合に、最も考慮しなければいけないことは、明度対比の働く地色に対する図色の関係である。

【問6】写真は、今年の初夏に撮影したアヤメ科アヤメ属の花菖蒲の花である。写真に見るような菖蒲（しょうぶ）の花の色に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。



1. 伝統衣装の着物に多く用いられる色で、日本の伝統色名の一つにあげられている。
2. 紫色の菖蒲の花と葉の色は、色相が補色かそれに近い対照の関係にある。
3. 菖蒲の花の紫色は、抽象的連想の休息・平和な印象を持っている。
4. JIS「物体色の色名」のマンセル表示で菖蒲（しょうぶ）色は、3P4/11と表示されている。

【問7】光に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

光は電磁波の一種であり、ある特定の波長（ a ）の範囲の光は、視覚を通して明るさや色の感覚を生じさせる。（ a ）の可視光線の中でも（ b ）は最も長い波長である。人間が見ることのできる光の範囲よりも短い波長は、（ c ）やx線、γ線などに区別される。

- |    | (a)       | (b) | (c) |
|----|-----------|-----|-----|
| 1. | 380～780nm | 黄   | 赤外線 |
| 2. | 380～780nm | 赤   | 紫外線 |
| 3. | 38～78nm   | 赤   | 赤外線 |
| 4. | 38～78nm   | 黄   | 紫外線 |

【問8】屋外広告物のユニバーサルデザインを実現するうえで、色覚に障がいのある人々への配慮は重要な事項のひとつである。色覚の障がいとそれに配慮した屋外広告物のデザインに関する記述として、**適切なもの**はどれか。

1. 色覚障がいとは、色の区別ができない障がいのことである。
2. 色覚障がいのある人を対象とした屋外広告物のデザインであっても、必ずしもモノトーンを基調としたデザインである必要はない。
3. 色覚障がいがある人の割合は、日本人の場合、男性で人口の約1%程度、女性で約0.5%程度である。
4. 色覚障がいのある人の大半は、緑と青の色に対する視感度がないか著しく低い（色弱）かのいずれかであるため、そのことに配慮した配色が必要である。

【問9】屋外広告物における視認性、誘目性に関する記述として、**適切なもの**はどれか。

1. 誘目性とは、見て対象物があることを発見できる性質のことである。
2. 視認性とは、興味を喚起してそちらに目を向けるようにする性質である。
3. 派手なものに限らず、周囲と違う特徴や興味対象のものは、誘目性を高める。
4. 屋外広告物では、大きく、他と同じように表現することで視認性も高くなる。

【問10】サインシステムについての記述の空欄に入る語の組合わせとして、正しいものはどれか。

サインシステムは大きく3つに分けられる。ランダムアクセス型は（ a ）を主体にしたシステムで、自分の位置を確認し、目的の場所を探し、ルートを決めて目的地に向かう。（ b ）型は方向系サインを主体にしたシステムで、矢印に従って効率よく移動できる。ヒエラルキー型は大拠点、中拠点のように、多種類のサインの秩序だった配置が特徴で、駅やバス停を中心に広がる市街地や（ c ）などに適しているシステムである。

- |    | (a)    | (b)      | (c)  |
|----|--------|----------|------|
| 1. | 説明系サイン | ポイントアクセス | 博覧会場 |
| 2. | 説明系サイン | リニアアクセス  | 空港   |
| 3. | 空間系サイン | ポイントアクセス | 空港   |
| 4. | 空間系サイン | リニアアクセス  | 博覧会場 |

【問11】欧文書体（ a ） 、 （ b ） 、 （ c ） の欧文書体分類名の組合わせとして、正しいものはどれか。

(a) Garamond ABCabc123

(b) Rockwell ABCabc123

(c) SnellRoundhand ABab123

- |    | (a)        | (b)     | (c)    |
|----|------------|---------|--------|
| 1. | オールド・ローマン体 | エジプシャン体 | スク립ト体  |
| 2. | オールド・ローマン体 | サン・セリフ体 | イタリック体 |
| 3. | モダン・ローマン体  | サン・セリフ体 | スク립ト体  |
| 4. | モダン・ローマン体  | エジプシャン体 | イタリック体 |

【問12】 C I（シーアイ）計画に関する記述として、**適切なもの**はどれか。

1. C I（シーアイ）とはCorporate Imageの頭文字をとった呼称である。
2. C I計画とは、企業や自治体その他の団体が、他と区別されやすく企図することを指し、情報化社会において企業等の発展に欠かせないものと考えられている。
3. C Iの視覚的要素の基本（ベーシックエレメント）となるのは、パッケージ、社員の制服、営業車の外装、名刺、ステーションナリーなどである。
4. C Iに対して、消費者の嗜好に合わせて展開される商品やサービスの独自性であるB Iは、Business Imageの頭文字をとった呼称である。



【問13】写真は福岡市天神地区の再開発のために姿を消した屋上広告塔である。この広告塔を解説した記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

この広告塔は日本を代表するグラフィックデザイナーによるもので、右面のシンボルマークは、心理学者が考案した（ a ）がアイデアソースになっている。両サイドに人の顔が向き合った横顔と、Tの字との（ b ）となっている。天神の頭文字Tを中心に「出会い」や「コミュニケーション」の意味が込められたシンボルマークとなっている。



( a )

( b )

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1. ルビンの盃  | 反転図形  |
| 2. ルビンの盃  | 双方向図形 |
| 3. ボルトの横顔 | 双方向図形 |
| 4. ボルトの横顔 | 反転図形  |

【問14】 JIS Z 8210図記号の矢印と使用方法（指示方向）の組合わせとして、**誤っているもの**はどれか。

	矢印	使用方法（指示方向）
1.		前方へ
2.		左前方へ
3.		右へ上がる
4.		左後方へ

【問15】 屋外広告物の設置場所に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 良好な農村景観が維持されている場所における営利目的の野立て看板などの掲出は、原則として差し控えることが望ましい。
2. 海岸、湖岸、河岸等に屋外広告物を設置する必要がある場合は、水平的な景観の構造を攪乱する可能性のある垂直的な造形は避けるべきである。
3. 歴史的景観の中で屋外広告物を掲出する際は、原則として伝統的な広告物が掲出されてきた場所を避けるべきである。
4. 丘陵地における屋外広告物の設置にあたっては、屋外広告物の存在によって稜線が変化したり分断されたりすることを回避しなければならない。

【問16】屋外広告物の景観シミュレーションに関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 屋外広告物の景観シミュレーションは、屋外広告物の掲出による視覚的効果と地域の景観に及ぼす影響を事前に想定し、両者のバランスを達成するために行われる。
2. 屋外広告物の景観シミュレーションでは、夜間の視認性を確保するために、発光装置や照明施設の照度や輝度、色温度などを細く設定した画像を用いることが望ましい。
3. 屋外広告物のシミュレーション画像の評価において、広告物の背景をなす景観要素は評価に殆ど影響しないことが知られている。
4. 歴史的なまち並みにおける大規模な屋外広告物の掲出にあたっては、より広範な市民の合意形成をはかるために、複数の被験者を対象とした心理実験を行うことが望ましい。

【問17】屋外広告物の画面製作の材料に関する記述として、**適切なもの**はどれか。

1. エポキシ樹脂塗料は耐候性が良くないので、広告板面への塗装は避けるべきである。
2. シート加工のものは、全般に耐候性が良くないので長期利用には不向きとされる。
3. 陶板印刷は耐候性に優れるが、フルカラーの画像表現が不可能である。
4. 金属を腐食させてつくるエッチングは、文字の際立たせに工夫が必要である。

【問18】世界文化遺産を構成する寺社の展望台から眺望した写真である。上の写真は正面に広がる山々を、下の写真は俯瞰した位置にある建物（屋根の上には広告物が見られる）を撮影したものである。上の写真の右下にこの建物の屋根の一部が見える。

写真に見る風景を参考にして、自然景観地に建つ勾配屋根の上に設置された広告物を説明した記述として、**適切でないもの**はどれか。



1. 写真に見る雄大な自然景観に対して広告物は、相対的にスケール感が小さなものとなっている。
2. 景観ポイントとなる展望台からの視線が向きやすい地形にあって、視認性を抑えた広告物となっている。
3. 付近一帯は、植生に覆われていることから、無彩色調の色彩を用いた広告物となっており、自然景観の色調に対して主張性を抑えようとする意図が見られる。
4. 寺社の休憩所としての目的を持ち歴史的に継承されてきたデザインを感じさせるが、自然景観地において景観上の配慮を欠いた広告物となっている。

【問19】屋外広告の様々なメディアに関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. タウンジャックとは、電車やバス車内のすべての広告媒体を同一の製品やサービスの広告で統一することである。
2. ラウンドイメージとは、複数の広告画像を印刷したロールフィルムをスクロールさせることで注目度を高めるものである。
3. シェルター広告は、バスや路面電車の停留所に広告物を設置し、その広告料を利用して停留所を維持管理するシステムである。
4. 仮囲いグラフィックスは、工事現場に設置された仮設塀の壁面に施されたグラフィックデザインのことである。

【問20】ラッピングバス等車体利用広告の景観との調和や優良なデザインに関する配慮すべき事項として、**適切でないもの**はどれか。

1. 運転者の注意を著しく阻害するおそれのあるデザインは使用しないこと。
2. 車体部位ごとの個々のデザインの質や景観との調和性を高めるよう心がけること。
3. 市民に畏怖、違和感等を与えるおそれがある表現はしないこと。
4. 行先表示、車いすステッカー等の法令等に基づく表示が、容易に識別できるよう配慮すること。